

第47期 事業報告書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで



ゼリア新薬

Z E R I A

ゼリア新薬工業株式会社



Z・E・R・I・A Five コーポレートスピリッツ / 企業理念

CONTENTS

株主の皆様へ	2	利益処分	10
営業の概況	3	連結財務ハイライト	11
経営指標の推移	5	ZERIA NEWS.....	12
貸借対照表	7	会社の概要	13
損益計算書	9	株式の状況	14

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第47期（平成12年4月1日から平成13年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

医薬品業界におきましては、平成12年4月に実施された業界平均7%の薬価基準引き下げ、及び平成13年1月の高齢者1割定率負担を盛り込んだ健康保険法の改正などにより、医療用医薬品市場はより一層厳しい状況となっております。また、ヘルスケア市場においても、個人消費の回復が見られないなか、規制緩和の浸透による流通形態の多様化が進み、競争が激化しております。

当社は、このように厳しさを増す市場環境の中で勝ち組としての地位を確保すべく、企業体質の強化すなわち「収益体質の強化」「財務体質の強化」ならびに「財務の効率化」などを意図した「質を求める経営の徹底」をさらに推進してまいりました。

この結果、当期の売上高は551億7百万円（前期比1.1%減）、経常利益63億1千3百万円（前期比3.1%増）、当期利益14億3千8百万円（前期比54.0%減）となりました。

なお、当期において退職給付債務の積立不足額38億5千3百万円を一括処理いたしました。

今期末の利益配当につきましては、1株につき8円とさせていただきます。（これにより年間配当金は、中間配当金8円を加えて、1株につき16円となりました。）

当社は「企業価値向上」を追求し、「質を求める経営の徹底」をさらに推進する第5次中期経営計画（平成13年度から平成17年度まで）を平成13年4月にスタートいたしました。本計画におきましては、ゲノム創薬による新薬創製を含めた新薬パイプラインの強化、ヘルスケア事業におけるナショナルブランド品の育成、医療用医薬品事業ならびにヘルスケア事業に次ぐコアとなる新規事業の構築を重点課題として掲げ取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年6月

代表取締役社長

伊部幸顕



ゼリア新薬

ZERIA

営業の概況

医療用医薬品部門

当部門におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質向上をはかり、学術情報活動の一層の充実と重点品目のさらなる市場構築に努めてまいりました。

最重要領域の消化器官用薬におきましては、H₂受容体拮抗剤「アシノンカプセル」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」とも引き続き順調に市場を拡大し伸長いたしました。また、急性心不全治療剤「ハンプ注射用1000」も大幅に続伸いたしました。

しかしながら、市場競争の激化により胃炎・潰瘍治療剤「マーズレンーS顆粒」は減少を余儀なくされ、白血球減少抑制剤「アンサー20注」、吸収性局所止血材「アビテン」も減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は407億8百万円（前期比0.4%増）となりました。



主要医療用医薬品等

ヘルスケア部門

当部門におきましては、高齢化の進展を背景とした医療用医薬品の薬剤費抑制策の強化に対応すべく、セルフプリベンション（予防）を指向した製品群を重点品目と位置付け市場構築に努めてまいりました。

また、新しい販路・コンビニエンスストアのため、戦略品としてソニーコミュニケーションネットワーク株式会社のメールソフトキャラクターである「モモ」をデザインに採用した「ローヤルゼリーももの味」を平成13年3月に発

売し、市場の開拓を進めております。

しかしながら、個人消費の低迷と激変する小売業界の影響を受け、ゼリアフランチャイズストア連盟店の売上が落ち込み、苦戦を強いられました。その結果、当部門の売上高は120億2千5百万円（前期比6.3%減）となりました。



主要一般用医薬品等

特販部門

当部門におきましては、子会社への販売ならびに輸出等により、売上高は23億7千3百万円（前期比2.5%増）となりました。

研究開発部門

当部門におきましては、国際的に通用する自社オリジナル新薬の創製を念頭に、ICH（薬事規制のハーモナイゼーションに関する国際会議）の動向を受けた海外臨床展開を積極的に推進しております。

期待の新薬といたしましては、自社オリジナル新薬の消化管運動賦活剤「Z-338」が欧州でのフェーズⅡを実施中であり、国内ではフェーズⅠが終了いたしました。

「Z-100（アンサー注）」につきましては、米国においてIND（新薬試験許可）をFDA（米国食品医薬品局）から取得し、HIV感染症（後天性免疫不全症候群：エイズ）患者を対象としたパイロットスタディを開始いたしました。

また、「ペオン錠」の急性上気道炎、「アンサー注」の子宮頸癌に対する効能追加のためのフェーズⅢを引き続き進めております。

自社創薬品の閉塞性動脈硬化治療剤「Z-335」につきましては、国内でフェーズⅡを

進行中です。

また、中央研究所にて創製された新しい作用機序の消化性潰瘍治療剤「Z-360」は英国でのフェーズⅠを平成13年4月に開始する準備が整いました。

一般用医薬品では、医療用医薬品のH₂受容体拮抗剤「アシノン」をスイッチOTCとして製造承認申請中でございます。その他、新製品8品目、リニューアル・規格追加品7品目を上市いたしました。

生産物流部門

当部門におきましては、平成12年12月に埼玉工場及び筑波工場において環境マネジメントシステムの国際標準規格である「ISO14001」の認証を取得いたしました。

会社が対処すべき課題

わが国の医療環境は、健康保険制度・薬価制度の改革、欧米企業の大型再編が加速するなかでの外資系企業の新薬投入による攻勢、規制緩和による健康食品の基準見直しなど、21世紀を迎えて大きく様変わりしつつあります。

医薬品の承認制度では、海外で行われた臨床試験の成績が積極的に利用され、流れは日米欧3極同時承認へと向かっております。また、欧米のベンチャー企業や各国研究機関を中心としたヒト遺伝子情報（ゲノム情報）の解読を契機に、ゲノム情報に基づき情報技術を駆使した、次世代の新薬開発がスタートしております。

このようななかで、当社は「企業価値向上」を追求し、「質を求める経営の徹底」をさらに推進する第5次中期経営計画（平成13年度から平成17年度まで）を平成13年4月にスタートいたしました。本計画におきましては、ゲノム創薬による新薬創製を含めた新薬パイプラインの強化、ヘルスケア事業におけるナショナルブランド品の育成、医療用医薬品事業ならびにヘルスケア事業に次ぐコアとなる新規事業の構築を重点課題として掲げ取り組んでまいります。

来るゲノム創薬時代に対応すべく、平成12年6月に100%出資のバイオベンチャーである「(株)ジーエスブラッツ」を設立し、既に国内外研究機関との共同探索研究を5プロジェクト開始いたしました。効率的な研究推進、ならびに当社中央研究所との連携によって、国際

社会に通用する新薬創出を目指してまいります。

ヘルスケア事業では、21世紀の超高齢社会の到来とセルフメディケーションの進展、さらに急激に変化する小売業界に対応すべく、ゼリアフランチャイズストア連盟に加えて、薬系量販店、一般販売店（コンビニエンスストアなど）の展開を強化し、「三本柱」による販路展開を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

主力製品

医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノンカプセル(150、75)
	プロマック顆粒15%
	マーズレン-S顆粒
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
	ハンブ注射用1000
血液及び体液用薬	アンサー-20注
医療用具	アピテン・シリンジアピテン

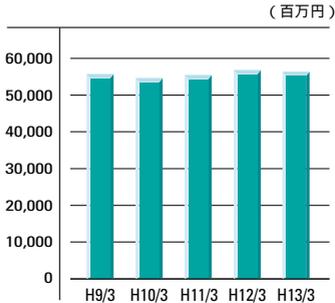
一般用医薬品等

種別	製品名
滋養強壯剤	ローヤルゼリー散
	ハイゼリー散
	マリオンカルシウム
	ゼリアカルシウム液
代謝性用薬	ハイゼリー-B
	強力ローヤルゼレントB
	ゼリアス(V5、V10)
	新ハイゼリーエース
	新ヘパリーゼプラス
	コンドロイチンZS錠
中枢神経系用薬	セビーゴールド(カプセル、顆粒)
栄養食品	新健康習慣

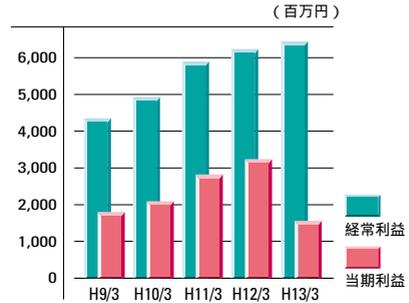


経営指標の推移

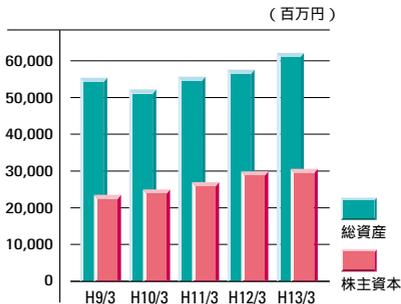
売上高



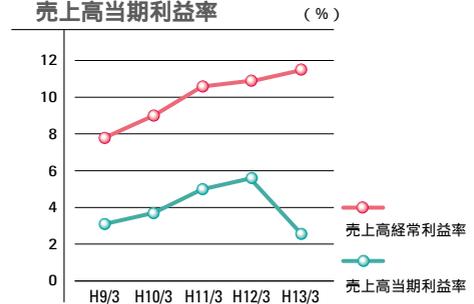
経常利益 / 当期利益



総資産 / 株主資本

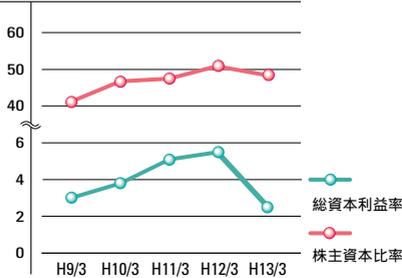


売上高経常利益率
売上高当期利益率

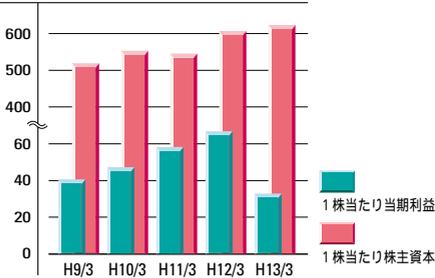


	第43期 H9/3	第44期 H10/3	第45期 H11/3	第46期 H12/3	第47期 H13/3
売上高 (百万円)	54,551	53,513	54,359	55,709	55,107
経常利益 (百万円)	4,236	4,816	5,785	6,121	6,313
当期利益 (百万円)	1,685	1,979	2,708	3,123	1,438
総資産 (百万円)	54,199	51,087	54,524	56,430	60,789
株主資本 (百万円)	22,344	23,853	25,852	28,739	29,364
売上高経常利益率 (%)	7.8	9.0	10.6	11.0	11.5
売上高当期利益率 (%)	3.1	3.7	5.0	5.6	2.6

総資本利益率
株主資本比率 (%)



1株当たり当期利益
1株当たり株主資本 (円)



Pick Up

退職給付債務の処理

当期において退職給付債務の積立不足額 38億5千3百万円を一括処理し、さらなる財務の健全化をはかりました。

(その結果当期の経営指標に影響が出ました。)

株主資本利益率 (ROE) (%)



	第43期 H9/3	第44期 H10/3	第45期 H11/3	第46期 H12/3	第47期 H13/3
総資本利益率 (%)	3.0	3.8	5.1	5.6	2.5
株主資本比率 (%)	41.2	46.7	47.4	50.9	48.3
1株当たり当期利益 (円)	38.27	44.96	56.62	64.52	29.78
1株当たり株主資本 (円)	507.50	541.79	533.80	595.15	608.09
株主資本利益率 (ROE) (%)	7.8	8.6	10.9	11.4	5.0

(注) 1株当たり当期利益は期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成13年3月31日現在)	前 期 (平成12年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	40,826,170	36,180,747
現金及び預金	1,929,580	1,989,818
受取手形	3,013,547	2,930,584
売掛金	27,280,681	24,987,356
有価証券	835,417	488,824
製品及び商品	2,876,141	2,725,945
半製品及び仕掛品	802,232	614,105
原材料及び貯蔵品	1,533,355	778,917
前渡金	419,031	426,328
前払費用	99,081	110,035
繰延税金資産	670,535	659,163
その他の流動資産	1,436,706	599,291
貸倒引当金	70,141	129,625
固定資産	19,963,031	20,250,140
有形固定資産	14,295,967	14,286,877
建物	4,845,660	5,241,856
構築物	300,177	309,560
機械装置	785,361	974,691
車両運搬具	10,596	13,048
工具器具備品	288,665	295,274
土地	8,034,005	7,452,445
建設仮勘定	31,500	
無形固定資産	182,860	448,341
販売権		182,430
特許実施権	33,333	83,020
ソフトウェア	121,730	153,474
その他の無形固定資産	27,796	29,416
投資等	5,484,203	5,514,920
投資有価証券	2,079,014	3,377,794
出資金	513,948	505,760
繰延税金資産	1,634,881	346,146
敷金及び保証金	616,429	694,755
その他の投資	725,485	595,541
貸倒引当金	85,556	5,076
資産合計	60,789,201	56,430,888

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成13年3月31日現在)	前 期 (平成12年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	27,798,971	24,268,614
支払手形	4,559,618	4,833,526
買掛金	4,349,605	2,792,795
短期借入金	11,200,000	9,900,000
1年以内返済予定の長期借入金	456,600	796,600
未払金	1,821,589	1,572,882
未払法人税等	1,265,930	1,454,183
未払消費税等	103,410	352,781
未払費用	845,648	182,494
預り金	112,421	105,895
賞与引当金	1,389,859	1,386,054
返品調整引当金	734,612	434,389
売上割戻引当金	416,434	393,855
その他の流動負債	543,242	63,156
固定負債	3,625,619	3,422,545
長期借入金	143,700	600,300
退職給付引当金	3,302,212	
退職給与引当金		2,610,868
役員退職慰労引当金	152,638	211,376
その他の固定負債	27,067	
負債合計	31,424,591	27,691,160
資本の部		
資本金	6,593,398	6,593,398
法定準備金	7,045,840	7,045,840
資本準備金	5,397,490	5,397,490
利益準備金	1,648,349	1,648,349
剰余金	15,725,371	15,100,488
任意積立金	12,959,000	10,459,000
別途積立金	12,959,000	10,459,000
当期末処分利益 (うち当期利益)	2,766,371 (1,438,195)	4,641,488 (3,123,824)
資本合計	29,364,610	28,739,727
負債及び資本合計	60,789,201	56,430,888



損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	前 期 (平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで)
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益	55,107,507	55,709,168
売上高	55,107,507	55,709,168
営業費用	48,762,640	49,757,797
売上原価	25,102,305	25,418,824
返品調整引当金繰入額	300,223	216,102
販売費及び一般管理費	23,360,111	24,122,871
営業利益	6,344,866	5,951,370
営業外損益の部		
営業外収益	367,085	420,533
受取利息及び配当金	93,464	93,032
有価証券売却益	130,207	201,354
その他の営業外収益	143,413	126,146
営業外費用	398,916	250,681
支払利息	151,305	159,774
有価証券評価損	237,787	71,550
その他の営業外費用	9,823	19,356
経常利益	6,313,035	6,121,222
特別損益の部		
特別利益	914,382	30,756
固定資産売却益	161,500	2,919
貸倒引当金戻入額		21,247
退職給付信託設定益	752,882	
その他の特別利益		6,590
特別損失	4,227,220	106,751
固定資産売却損	46,875	1,763
固定資産除却損	55,611	49,237
固定資産評価損	14,365	55,750
退職給付会計基準変更時差異	3,853,834	
貸倒引当金繰入額	25,346	
その他の特別損失	231,187	
税引前当期利益	3,000,197	6,045,227
法人税、住民税及び事業税	2,862,108	3,253,864
法人税等調整額	1,300,106	332,461
当期利益	1,438,195	3,123,824
前期繰越利益	1,714,473	1,330,586
過年度税効果調整額		672,849
中間配当額	386,297	338,993
利益による自己株式消却額		146,777
当期末処分利益	2,766,371	4,641,488

利益処分

(単位：円)

科 目	期 別	当 期	前 期
当期末処分利益		2,766,371,845	4,641,488,828

これを次のとおり処分いたします。

利益配当金	386,313,880 (1株につき 8円)	386,315,312 (1株につき 8円) 普通配当7円 東証第一部指定替記念配当1円
役員賞与金 (うち監査役員と金)	39,300,000 (4,650,000)	40,700,000 (5,450,000)
任意積立金		
別途積立金	500,000,000	2,500,000,000
次期繰越利益	1,840,757,965	1,714,473,516

- (注) 1. 平成11年12月10日に338,993,837円(1株につき7円)の中間配当を実施いたしました。
 2. 平成12年12月11日に386,297,624円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。
 3. 利益配当金は自己株式(当期938株、前期759株)を除いて計算しております。

連結財務ハイライト

	第47期(当期) H13/3	第46期(前期) H12/3
売上高(百万円)	55,766	56,183
経常利益(百万円)	6,405	6,124
当期純利益(百万円)	1,365	3,111
総資産(百万円)	62,650	56,566
株主資本(百万円)	29,306	28,811
売上高経常利益率(%)	11.5	10.9
売上高当期純利益率(%)	2.4	5.5
総資本経常利益率(%)	10.7	11.0
株主資本比率(%)	46.8	50.9
1株当たり当期純利益(円)	28.28	64.27
1株当たり株主資本(円)	606.90	596.65
株主資本利益率(ROE)(%)	4.7	11.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,047,520	1,220,174
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,988,225	2,140,653
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	128,926	695,391

連結子会社 2社

ゼリアヘルスウエイ株式会社

売上高 2,193百万円

資本金 12百万円(持株比率100%)

事業内容 健康食品の仕入・販売

株式会社ゼービス

売上高 523百万円

資本金 180百万円(持株比率100%)

事業内容 保険代理業・不動産業等

ZERIA NEWS

第5次中期経営計画(2001～2005)を策定しました

第5次中期経営計画(2001～2005)を策定しました。当社は、21世紀の初年度に当たるこの4月1日から5カ年の第5次中期経営計画をスタートさせました。基本骨子は以下のとおりです。

第5次中期経営計画の位置付け

東証一部上場企業として「企業価値向上」を追求し、「質を求める経営の徹底」をさらに推進する。

経営目標

2005年までに売上高800億円、売上高純利益率10%以上、株主資本比率70%以上、ROE15%以上を目指す。

重点課題

1. 研究開発の基盤強化を進め、ゲノム創薬による新薬創製に挑戦する。
2. ヘルスケアのナショナルブランド製品を実現する。
3. 医療用医薬品事業、ヘルスケア事業以外の新規事業に積極的に挑戦する。

新製品
紹介

ローヤルゼリーももの味を発売

ヘルスケア事業において新規チャネルの開拓および拡大を1つの大きなテーマとしております。その第1弾としてソニーコミュニケーションネットワーク株式会社から発売されているパソコン通信(電子メール)用ソフト「ポストペット」のメインキャラクター・モモをフューチャーした医薬部外品ドリンク「ローヤルゼリーももの味」を広告宣伝を展開しながらコンビニエンスストア中心に発売しました。



- 商 品 名：ローヤルゼリーももの味
(販売名：ヘルサンB)(医薬部外品)
効能・効果：肉体的疲労時の栄養補給、滋養強壮に
用法・用量：成人(15才以上)1回1瓶(50ml)を
1日1回服用してください。
発 売 日：3月3日
価 格：190円(税別・メーカー希望小売価格)





ゼリア新薬
ZERIA

会社の概要

(平成13年3月31日現在)

創立 1955年12月
資本金 6,593,398,500円
社員数 1,298名
主な事業内容
 1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入
 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療用具の製造、販売及び輸出入

役員 (平成13年6月28日現在)

代表取締役社長	伊部幸顕
専務取締役	林田雅博
専務取締役	佐々木耕治
常務取締役	徳田直三郎
取締役	大野晃
取締役	稲垣哲也
取締役	福山厚男
取締役	岩崎和樹
取締役	株橋春樹
取締役	長江晴男
取締役	猪口博明
取締役	吉田泰久
取締役	菅幹雄
常勤監査役	浜野峻至
常勤監査役	田中辰幸
監査役	伊藤喜一郎

事業所

本社	東京都中央区	大阪支店	吹田市	東京物流センター	埼玉県新座市
札幌支店	札幌市	大阪第二営業所	堺市	札幌物流センター	札幌市
仙台支店	仙台市	神戸営業所	神戸市	埼玉物流センター	埼玉県大里郡
東京支店	東京都中央区	京都営業所	京都市	大阪物流センター	大阪府摂津市
横浜営業所	横浜市	金沢営業所	金沢市	出張所	
埼玉営業所	さいたま市	中四国支店	広島市	青森・郡山・松山・長崎・鹿児島・	
千葉営業所	千葉市	岡山営業所	岡山市	沖縄	
北関東営業所	水戸市	高松営業所	高松市	連絡所	
関越営業所	新潟市	福岡支店	福岡市	宇都宮・高崎・富山・津・米子・山口・	
甲信営業所	松本市	中央研究所	埼玉県大里郡	高知・徳島・大分・熊本	
名古屋支店	名古屋市	埼玉工場	埼玉県大里郡		
静岡営業所	静岡市	筑波工場	茨城県牛久市		

株式の状況 (平成13年3月31日現在)

株式の状況

会社が発行する株式の総数 119,860,000株
 発行済株式の総数 48,290,173株
 株主数 4,054名

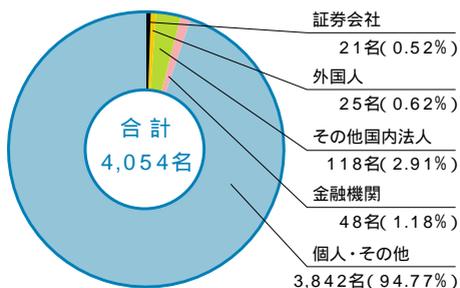
大株主

株主名	当社への出資状況		当社の出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	5,400,770	11.1	—	—
ロサランド株式会社	3,601,079	7.4	—	—
株式会社東海銀行	2,304,045	4.7	1,382,000	0.0
ゼリア新薬工業従業員持株会	2,196,417	4.5	—	—
サントリー株式会社	1,980,000	4.1	—	—
伊部 幸顕	1,582,425	3.2	—	—
森永乳業株式会社	1,300,741	2.6	1,596	0.0
株式会社さくら銀行	1,278,301	2.6	1,000	0.0
中央三井信託銀行株式会社	1,207,907	2.5	296,000	0.0
日本信託銀行株式会社	967,907	2.0	1,000	0.0

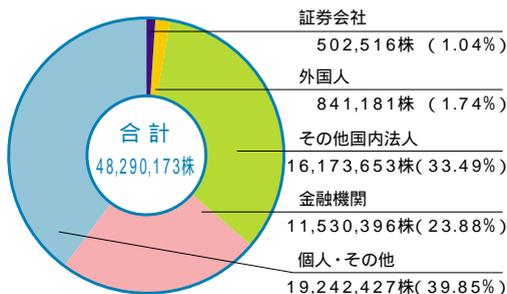
(注) 株式会社さくら銀行は平成13年4月1日をもって株式会社住友銀行と合併し、株式会社三井住友銀行となりました。

株式分布状況

株主数構成比



株式数構成比



株 主 メ モ

決 算 期	3月31日
利益配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主總會	6月下旬
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社証券代行部 03-3323-7111(代)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店、出張所
証 券 コード	4559

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度をおこなっております。

私たちの業務に対する皆様のより一層のご理解をいただきますよう、当社の製品をお試しただくことにいたしました。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしく願い申し上げます。

実施の方法

毎年9月30日現在及び3月31日現在における所有株式数1,000株(1単位)以上の株主の皆様に対し、年間2回、当社のバランス栄養食品「新健康習慣」一箱(12,800円相当)を贈呈いたします。

バランス栄養食品「新健康習慣」

当社と森永乳業株式会社が共同開発した、生活習慣病が気になる方に食生活改善を提案する新しいコンセプトの食品です。1食は、クラッカー、スープ(ポタージュ3種類、中華風3種類)と、ラクトフェリン・ビフィズス菌・ラクチュロースを配合した栄養補助サプリメントの組み合わせとなっております。1食あたり約220kcalに調整されており、2ヶ月を目安に、1日3回の食事のうち1食を「新健康習慣」に置換えると効果的です。



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 FAX 03-3663-2352
03-3661-2080

<http://www.zeria.co.jp>